平成25年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月22日

上 場 会 社 名	キーコーヒー株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	2594	URL	http://www.keycoffee.co.jp/
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	柴田　裕
問合せ先責任者	(役職名) 財務部長	(氏名)	橋口　芳久　(TEL) (03)3433-3311
四半期報告書提出予定日	平成24年11月５日	配当支払開始予定日	平成24年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第２四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	27,460	5.3	436	―	552	375.5	256	―
24年３月期第２四半期	26,085	5.8	11	△97.6	116	△80.1	△6	―

(注) 包括利益 25年３月期第２四半期　179百万円(　―%) 24年３月期第２四半期　△66百万円(　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第２四半期	11.58	―
24年３月期第２四半期	△0.28	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第２四半期	45,567	33,092	70.2
24年３月期	44,575	33,033	71.6

(参考) 自己資本 25年３月期第２四半期　31,965百万円　24年３月期　31,918百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	5.00	―	5.00	10.00
25年３月期	―	5.00			
25年３月期(予想)			―	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,400～56,900	1.2～5.9	510～890	―	750～1,140	191.9～343.7	350～500	―	15.81～22.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　社（社名）　　、除外　　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：有

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期２Ｑ	22,464,000株	24年３月期	22,464,000株
②　期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	329,912株	24年３月期	329,534株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期２Ｑ	22,134,181株	24年３月期２Ｑ	22,134,816株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 12
（５）セグメント情報等 …… 12
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成24年４月１日から平成24年９月30日までの６ヶ月間）における当社グループを取巻く経営環境は、東日本大震災の影響から緩やかに回復の兆しが見られたものの、欧州金融問題や電力料金の値上げ、低調なまま推移している個人消費など厳しい状況が続きました。

コーヒー業界は、ここ数年高値圏で推移していたコーヒー生豆相場が最高値圏を脱したものの先行きは不透明であり、また、コーヒー以外の製品についても主原料となる穀物類の国際相場が高騰するなど、予断を許さない状況が続いております。

このような市場環境の下、当社グループはコーヒーの持つ魅力を生活者にお届けし続けるという企業使命を果たすため、「品質第一主義」の経営理念に基づき、「収益性の改善」と「市場競争力の強化」を２つの柱として新たな事業領域の開拓、生活者のニーズにお応えする新商品の開発、お客様との絆を深める企画提案型の営業活動を展開し、業績の回復に努めてまいりました。

これらの結果、当社グループの当第２四半期連結累計期間の売上高は、274億60百万円(前年同期比5.3%増)となりました。利益面は大きな影響を受けた東日本大震災以前の状況まで回復しつつあり、営業利益は４億36百万円と前年同期に比べ４億25百万円の増益、経常利益は５億52百万円（前年同期比375.5%増）、四半期純利益は２億56百万円(前年同期は６百万円の純損失)となりました。

セグメントの営業概況は次のとおりであります。

（コーヒー関連事業）

業務用市場では、「トアルコ トラジャ コーヒー」や「氷温熟成珈琲」など差別性の高いプレミアムコーヒーの拡販活動を推進致しました。また、お取引先への支援策として、「夏のカレーフェア」や「トロピカルマンゴーフェア」などを実施するとともに、「野菜たっぷり赤カレー」や「オリジナルジュース」などの新商品を発売致しました。また、カフェビジネスを成功に導くスキルや最新の情報提供を充実させる施策の一つとして、アメリカやカナダで開催されている体験型講座である「バリスタネーション」を日本で初めて５月に開催致しました。

家庭用市場では、大正時代の味わいを再現した「横濱1920 CLASSIC」をドリップオンの形態で新発売致しました。手軽にカフェ気分が味わえる割りカフェシリーズに「抹茶オレベース」、「バナナオレベース」の新商品を投入、水出しコーヒーシリーズには「氷温熟成珈琲 水出し珈琲」を新たに投入しました。

ギフト商品では、中元期に「氷温熟成珈琲 アイスコーヒー」や「氷温熟成水出し珈琲＆ドリップオン」を詰め合わせたギフトなど全42アイテムをラインアップ致しました。

なお、2012年度モンドセレクションにおいてアロマフラッシュ「鮮やかな香り キリマンジェロブレンド」が２年連続『最高金賞』を受賞し、2012年iTQi（国際味覚審査機構）においては、「真空パック（ＶＰ）スペシャルブレンド」が『優秀味覚賞“三ツ星”』を受賞するなど、数々の当社製品が高く評価されました。

この結果、当第２四半期連結累計期間におけるコーヒー関連事業の売上高は231億72百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は５億22百万円（同230.7%増）となりました。

（飲食関連事業）

株式会社イタリアントマトでは、「サマースイーツフェア」「夏のフードフェア」「夏のコールドドリンクフェア」などの販促策を実施しました。また、「国内は充実」「海外は拡大」の方針の下、国内では消費動向を慎重に見据えて堅実な出店を目指し、海外ではアジア地域での新規出店を進めた結果、国内では大学キャンパス内への出店、海外では福建省廈門市に「イタリアン・トマト カフェ アモイ中華城店」など国内外に６店出店致しました。一方、不採算店８店を閉鎖し、店舗数は301店（直営店70店、ＦＣ店231店）となりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における株式会社アマンドを含めた飲食関連事業の売上高は31億70百万円（前年同期比19.9％増）、営業利益は50百万円（同160.8％増）となりました。

（その他）

当第２四半期連結累計期間におけるその他事業の売上高は11億17百万円（前年同期比3.6％減）、営業利益は91百万円（同12.8％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

総資産は前連結会計年度末に比べて９億92百万円増加し、455億67百万円となりました。

流動資産は12億92百万円増加し、243億34百万円となりました。これは現金及び預金の増加（12億97百万円増）などによるものであります。

固定資産は２億99百万円減少し、212億32百万円となりました。有形固定資産は、建物及び構築物、機械装置及び運搬具等の減価償却が新規取得額を上回ったことなどにより３億８百万円減少しました。無形固定資産は74百万円増加し、投資その他の資産は65百万円減少しました。

（負債）

負債は前連結会計年度末に比べて９億33百万円増加し、124億74百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べて８億73百万円増加し、97億88百万円となりました。これは支払手形及び買掛金の増加（４億50百万円増）などによるものであります。

固定負債は59百万円増加し、26億86百万円となりました。

（純資産）

純資産は前連結会計年度末に比べて59百万円増加し、330億92百万円となりました。これは利益剰余金の増加（１億45百万円増）などによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年10月18日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第２四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,558	8,856
受取手形及び売掛金	7,024	7,423
有価証券	5,387	5,087
商品及び製品	1,207	1,203
仕掛品	190	148
原材料及び貯蔵品	1,060	948
繰延税金資産	218	293
その他	422	402
貸倒引当金	△27	△29
流動資産合計	23,042	24,334
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,462	6,277
機械装置及び運搬具（純額）	1,887	1,778
土地	6,456	6,456
その他（純額）	690	675
有形固定資産合計	15,496	15,188
無形固定資産		
のれん	157	157
その他	305	379
無形固定資産合計	463	537
投資その他の資産		
投資有価証券	3,153	3,106
長期貸付金	219	170
繰延税金資産	175	274
差入保証金	1,763	1,723
その他	601	570
貸倒引当金	△340	△337
投資その他の資産合計	5,572	5,507
固定資産合計	21,532	21,232
資産合計	44,575	45,567

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,611	6,062
短期借入金	584	617
未払金	1,100	1,036
未払法人税等	276	416
繰延税金負債	0	―
賞与引当金	278	453
その他	1,062	1,201
流動負債合計	8,914	9,788
固定負債		
長期借入金	112	55
繰延税金負債	1	0
再評価に係る繰延税金負債	557	557
退職給付引当金	1,056	1,184
資産除去債務	264	269
その他	634	619
固定負債合計	2,627	2,686
負債合計	11,541	12,474
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,465	4,465
資本剰余金	4,873	4,873
利益剰余金	26,554	26,700
自己株式	△541	△541
株主資本合計	35,352	35,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	195	97
土地再評価差額金	△3,624	△3,624
為替換算調整勘定	△4	△4
その他の包括利益累計額合計	△3,433	△3,531
少数株主持分	1,114	1,127
純資産合計	33,033	33,092
負債純資産合計	44,575	45,567

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
売上高	26,085	27,460
売上原価	18,696	19,477
売上総利益	7,389	7,982
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び見本費	529	547
荷造運搬費	539	531
車両費	263	247
貸倒引当金繰入額	32	32
役員報酬	181	182
給料及び賞与	2,828	2,827
賞与引当金繰入額	256	356
退職給付引当金繰入額	283	220
福利厚生費	449	479
賃借料	545	583
減価償却費	186	196
消耗品費	162	175
研究開発費	100	106
その他	1,019	1,055
販売費及び一般管理費合計	7,377	7,546
営業利益	11	436
営業外収益		
受取利息	24	22
受取配当金	52	55
持分法による投資利益	－	0
受取家賃	20	21
その他	40	37
営業外収益合計	137	137
営業外費用		
支払利息	8	8
持分法による投資損失	3	－
為替差損	16	8
リース解約損	0	－
その他	3	3
営業外費用合計	32	21
経常利益	116	552

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
特別利益		
投資有価証券売却益	－	7
負ののれん発生益	26	5
受取賠償金	－	9
その他	0	0
特別利益合計	27	23
特別損失		
固定資産売却損	－	8
固定資産除却損	16	－
投資有価証券評価損	－	16
会員権売却損	6	－
事業整理損	19	－
災害損失	30	－
その他	0	－
特別損失合計	72	24
税金等調整前四半期純利益	70	550
法人税、住民税及び事業税	126	393
法人税等調整額	△64	△121
法人税等合計	62	272
少数株主損益調整前四半期純利益	8	278
少数株主利益	15	22
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△6	256

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	8	278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77	△98
為替換算調整勘定	2	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△75	△98
四半期包括利益	△66	179
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81	158
少数株主に係る四半期包括利益	15	21

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	70	550
減価償却費	656	634
負ののれん発生益	△26	△5
固定資産売却損益（△は益）	△0	7
固定資産除却損	16	－
投資有価証券売却損益（△は益）	0	△7
投資有価証券評価損益（△は益）	－	16
受取賠償金	－	△9
会員権売却損益（△は益）	6	－
事業整理損失	19	－
災害損失	30	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	24	△0
賞与引当金の増減額（△は減少）	△13	175
退職給付引当金の増減額（△は減少）	195	128
受取利息及び受取配当金	△76	△77
支払利息	8	8
持分法による投資損益（△は益）	3	△0
売上債権の増減額（△は増加）	△613	△398
たな卸資産の増減額（△は増加）	△547	158
仕入債務の増減額（△は減少）	1,302	450
未払金の増減額（△は減少）	△233	△42
その他	68	174
小計	891	1,761
利息及び配当金の受取額	66	74
利息の支払額	△9	△8
受取賠償金の受取額	－	9
災害損失の支払額	△50	－
法人税等の支払額	△164	△257
法人税等の還付額	74	44
営業活動によるキャッシュ・フロー	808	1,623

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△3,000	△4,000
有価証券の償還による収入	3,000	4,000
投資有価証券の取得による支出	△221	△264
投資有価証券の売却及び償還による収入	370	462
有形固定資産の取得による支出	△322	△317
有形固定資産の売却による収入	1	7
無形固定資産の取得による支出	－	△82
その他	69	55
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101	△138
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	72	－
短期借入金の返済による支出	△10	－
長期借入金の返済による支出	△90	△96
配当金の支払額	△221	△110
その他	△37	21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△287	△185
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	420	1,297
現金及び現金同等物の期首残高	7,136	7,945
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,556	9,243

（４）継続企業の前提に関する注記

当第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	コーヒー関連事業	飲食関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,282	2,643	24,926	1,159	26,085	―	26,085
セグメント間の内部売上高又は振替高	217	1	218	795	1,014	△1,014	―
計	22,500	2,644	25,145	1,954	27,100	△1,014	26,085
セグメント利益	158	19	177	104	282	△270	11

(注)　1.　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、飲料製品製造事業、オフィスサービス事業及び通販事業、運送物流事業、保険代理店事業等を営んでおります。

２．セグメント利益の調整額 △２億70百万円には、セグメント間取引消去 ２百万円、棚卸資産の調整額 △０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △２億72百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	コーヒー関連事業	飲食関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,172	3,170	26,343	1,117	27,460	―	27,460
セグメント間の内部売上高又は振替高	226	25	252	779	1,031	△1,031	―
計	23,399	3,195	26,595	1,896	28,491	△1,031	27,460
セグメント利益	522	50	573	91	664	△227	436

(注)　1.　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、飲料製品製造事業、オフィスサービス事業及び通販事業、運送物流事業、保険代理店事業等を営んでおります。

２．セグメント利益の調整額 △２億27百万円には、セグメント間取引消去 ４百万円、棚卸資産の調整額 26百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △２億58百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

該当事項はありません。